

なのはな

NPO法人 なのはな

◇あおぞらキナーダーガーデン

◇まほろば

◇わとと・あおぞら

〒420-0961 静岡市葵区北226-1

TEL/FAX 054-246-2213

E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp

npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp

URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

～こいのぼりが泳ぐ～

そんな姿を見ると子どもを思い、ほっとしてあったかくなるものですね。

でも最近は、こいのぼりがだんだん少なくなり寂しい限りですが、散歩コースのご近所の方が、わざわざこいのぼりを上げて子ども達を待って下さり、本当にありがたく思っています。

こいのぼりが上がる1951年5月5日「子どもは、1人の人間として尊ばれる」ことをうたった『児童憲章』が制定されました。これは、1994年『子どもの権利条約』を日本が批准する道に繋がる、子どもにとって、とても大切な日です。

子どもの権利というと難しく思われるかもしれませんが

- ・あかちゃんが泣くのは、お腹がすいた、抱っこして欲しいなど、あかちゃんの心を教えてくれている
- ・体が不十分な育ちである子どものお漏らしは、叱責されることではなく、当たり前のことなの等等など。

ちょっと昔は、当たり前だった子育て文化の中身です。

しかし、子育て文化が途切れ子育ての孤立化・孤独化が途切れ、こうした行為をすると『虐待』もあり、子どもの生存権が脅かされている今、この『児童憲章』『子どもの権利条約』は、とても意味あるものなのですね。

どの子も元気に育つことを大人みんなで願ったら子どもは、幸せになります。

泳ぐこいのぼりを見ながらたまには、子どもの権利を考え、みんなで子どもの幸せを願いましょうね！

(おか)

あおぞらだより

1年生との交流遠足

4月の末の土曜日に、新しくあおぞらのなかまになったお友だち（にじぐみ）と3月に巣立った子どもたちがピカピカの1年生になって参加する交流遠足が行われました。

当日は、たくさんの1年生・在園生が参加して島田の中央公園に出かけました。

『1年生』嬉しさと不安に見られる今、心がパンクしちゃう位頑張っていたりするそんな時。そのいろいろな色々を言葉にしなくても分かっちゃう友達や先生と会って、はじけて、笑って・・・楽しそうだったみんな。

分かってくれる人がいる。同じ思いのなかまがいる。そんななかまがいるってこと。それはエネルギーになりますね。

新しいお友だちも、在園生もいつもと違う子どもや子ども達と関わってみんなが楽しく嬉しい気持ちになった交流遠足

ほーら。明日から何かいいことありそう！みんなありがとう。

(いな)

参加した父母からの感想

- ・卒園した子ども達が自分達が行っていた幼稚園に又、こうやって帰ってくる場所があって素敵だと思いました。皆あおぞらが大好きなんだよ〜って顔で、イキイキしていました。
- ・園からのお手紙をもらった時からとても楽しみにしていました。今のところ学校も楽しくて友達も出来たみたいですが、やっぱりあおぞらの仲間は、特別みたいです。久しぶりに会って又すぐに前の関係に戻れてありのままの自分でいられるみたいです。バスの中でも、すごく興奮状態の新1年生。嬉しくて気持ちを抑えられない様子でした。又、行きたーいといっていました。
- ・交流遠足での1年生の姿は、本当にみていて嬉しかったです。学校生活のエネルギーをなかまの中で、十分に補給出来たかな？と思えました。

まほろばの部屋から

現在の日本にとって3月4月は、年末年始以上に変化の大きい月となっています。入園、入学、就職、転職…。子どもたちにとっては“大きくなった”ことを自覚できる、そんな時期です。そこまで大きな出来事がない大人でも、今まで関わるメンバーが変わったり、子どもや家族を通しての新しい人との関わりがあったり、時間の動きが変わったりと、ちょっとずつ今までと違うことが出来ているはずですよ。

“大きくなる”という嬉しさの裏に、頑張りきれない部分が見えてくる。大人も子どもも、体調を崩しやすいのは、きっと気候のせいだけではないのでしょう。こどもたちも、体に現れなくても泣くことが多かったり、夜泣きや指しゃぶりが復活したりと、そういうこともあるでしょうね。

知らないうちに頑張っちゃった3月4月。4月の終わりから5月にかけて、おかあさんやおとうさんに甘えたり、グズグズしたり、大好きな遊びや物に執着したり、いろんな姿を出して、どっかに寄りかかって、助けてもらいながら、ちょうどいい頑張り方をみつけていくのでしょうか。

(ハル)

わとと・あおぞら

みんないっしょだよ！！

今年度も、わととに新しく足を運んでくれるおやこが、ふえてきました。うれしいですね。日ごろの子育てで、一生懸命で気がつく、あれっ！と悩んでいるママがたくさんいます。

：座って食べてくれない。

：言うところかにいっちゃう。

：「いやーいやー」と気に入らないとおおさわぎではずかしい。「これなあに？」って
いっばい聞いて、うるさくかんじちゃう。 などなど。。

そんな話をしていく中で「うちの子もいっしょだよ。」「えー！ほんと？うちの子だけかとおもっちゃったあー」……「みんないっしょだよ！！」と、話をしていたママたちをみました。

わととに、くるようになったきっかけは、色々だけど、いっしょに共感し、横につながっていく姿をみるとうれしくなりホッとほたるひとこまでした。

<せり>

NPO法人なのはなのホームページで、この“なのはな通信”が見られるようになりました。バックナンバーも載せていく予定ですので、ぜひ、ご覧ください。

<http://www4.tokai.or.jp/nanohana/news/index.html>



「だるまさんが」 かがくい ひろし さく

ブロンズ新社

絵本を手にとった途端に、思わずこちらの顔がニンマリほころんでしまいます。

“だ・る・ま・さ・ん・が” というフレーズにのって、0歳の子どもたちも絵のように身体を左右に揺らして、リズムをとっている姿はとてもかわいいです。きっと絵本の中のだるまさんと一つになっているんでしょうね。

“どて” っと転んだり、“びろーん” と伸びたりする場面では、だるまさんと同じようにゴロンとしたり、背伸びをしたり、みんな大笑い。何回も「読んで 読んで」とリクエストが来るほど楽しい絵です。

0歳から大人まで楽しめます。

大人もストレスを感じたら、このだるまさんの顔を見て下さい。きっとクスッと笑えますよ。

(すえ)

あおぞらの保育4～基本的な生活習慣～

基本的な生活習慣には、食事・排泄・睡眠・清潔などが含まれています。

この力は、あそびや活動をより自由にする為の大切な力として乳幼児期からの継続的な働きかけが必要です。幼稚園の入園の子が、お家での環境が大きく影響するというのは、そうした理由です。子どもはこの力を獲得することでより自主的に主体的に生きる事ができます。そしてもう1つが、民主的に人とかかわる力としての「集団」の視点です。入園したての子は、思いを出せず緊張したり泣いています。そんな子どもたちが、居場所を創り仲間の関係をケンカしたりしながらも深め、より自主的な集団を創っていきます。そうした自主的・民主的な人間関係を意図的に創る営みです。両者があって子どもは、あそびや生活が豊かに展開していくと考えています。(次回は、食事です)